

学校だより
臨時号

桜の宮 No. 1

平成27年3月6日
神戸市立桜の宮小学校
〒651-1143
神戸市北区若葉台 1-3-15
TEL: 078-591-1009
<http://www.kobe-c.ed.jp/skm/>

教育活動等に関するアンケート集計結果

教育活動等に関するアンケートにお答えいただきありがとうございました。
166の提出(提出率75%)をいただきました。ご報告させていただきます。

☆学校について

◎数値評価(4段階評価)

()は昨年度

1	保護者であるあなたは、桜の宮小学校が好きで誇らしく感じている。	3.0 (3.0)
2	先生たちは、子どもたちが充実した学校生活を送るために協力して取り組んでいる。	3.2 (3.1)
3	先生たちは、子どもの関心や意欲が高まるように授業を工夫している。	3.2 (3.1)
4	先生たちは、授業や宿題などを通して、計算や漢字などの基礎学力が定着するように努力し、ある一定の成果をあげている。	3.1 (3.0)
5	先生たちは、家庭訪問や懇談、連絡帳、電話連絡などを通して家庭と連携し、子どものことで連絡や相談したことについて、きちんと対応している。	3.3 (3.2)
6	学校は、学校行事や学年行事、さくらっこタイムなどが、子どもの成長にとって有意義なものになるように、工夫や努力を重ねている。	3.2 (3.2)
7	学校は、子ども同士の望ましい関係づくりのためにさまざまな努力をしている。(仲間づくりが進む授業や行事・友だち関係の悩みに対する助言・問題ある言動に対する指導など)	3.1 (2.9)
8	学校は、子どもたちが学習しやすいように、安全で快適な環境づくりを進めている。	3.1 (3.2)
9	学校は、必要な情報を発信し、「開かれた学校づくり」を目指す取組を行っている。(授業参観やオープンスクールの実施、各種通信やホームページなど)	3.3 (3.2)

◎自由記述

教育活動に対する提案

- 発達障害をもつ子どもにも分かりやすい授業というのが、今実践されているところもあるようです。低学年の子ども達には構造化され、集中しやすい環境であることはとても有効かと思われます。また、活動内容を具体的に目で見て分かるように提示することや時間配分を伝えていくことなど様々な工夫が考えられるかも知れません。
- 人数が少ないので、少ないなりにもっと学校での学習の取組を工夫し、学力がアップするようにしていただきたいです。(読書を朝にしたり、読み聞かせをしたりするなど。)他校は人数が多いが、学力は高いです。桜の宮は低いとされています。学力だけでなく、少ない人数ならではの学校の特性があってもいいと感じています。
- クラス全員が協力し合えるスポーツ・遊びをもっと取り入れてほしい。(何か記録に向かって挑戦するなど。)
- 人数が少ないので難しいと思いますが、学力・体力の低下が気になります。学校外での活動などでも好成績をなかなかおさめられません。陸上記録会・駅伝などせっかくで子ども達にいい思い出となるよう練習に取り組むのはどうでしょうか。他校とは熱意が違うように感じました。先生方で限界があるなら、保護者に協力・依頼をしていいと思います。

学力・体力アップへのご提案、ありがとうございます。基礎学力定着のために、本校では「朝の学習」を設定し、火曜日は計算チャレンジ、水曜日は音読、金曜日は読書に取り組んでいます。それぞれの活動で成果も出ていますが、さらに充実できるようにしていきます。また、学力は、授業で養われます。職員の研修を充実させ、授業そのものの質を高めるように努めてまいります。体力アップについては、今年度よりさくらっこタイム(木曜日の朝)にスポーツタイムを設け、スポ協ではいろいろな運動に取り組んでまいりました。今後、保護者と一緒に、よりよい活動にしていきたいと考えています。

指導・憂慮

- 子ども達の学力を上げる工夫をもう少ししてほしいです。宿題の量も増やしてほしいです。
- 保護者の方から、桜小の学力が他校に比べて低いという話を聞くので不安があります。批判的にもあまりよくないということも聞きます。
- 友人間で起こっているトラブルについて保護者にもっと説明してください。
- 一部の子ども達が全く先生の話をお聞きせず、私語をやめない。注意されれば、文句を言う。先生が誰かを注意していると、「もういいから」「もうやめとき」など周りから先生にやじがとぶ。もう、先生だけでは防ぎきれないのではないのでしょうか。きつく注意すると親が出てくるなど、板挟み状態で大変だと思います。授業を聞いている子ども達にとっては、中断すると大変迷惑だし、進みません。小学校も高校のように、停学・退学処分などの制度があれば、親も変わるのではないのでしょうか。
- 学年で何か問題があったときは、先生方のご苦勞を察しますとともに、保護者への連絡をいただけたらと思います。同じ学年でも担任の先生によって決め事が違う場合があるので、学年で統一していただけたらと思います。一年間ありがとうございました。
- 友人間のトラブルや問題行動等の対応が大変なのは理解できますが、授業時間を犠牲にするのは、やめていただきたいです。
- 小学校最後の年に先生と子ども達がまとまることができなかったことを残念に思います。中学にむけて不安を感じます。
- 先生たちの言葉づかいが悪く、とても気になります。怒るときは仕方ないと思いますが、入学説明会の時の先生の親に対する話し方がとても気になりました。
- 自分の子どもの学年については、先生によくしていただいていると思っています。他の学年の先生については、あまりよくない話も聞きます。ホームページを見ると、いろいろしてくださっていることが、分かりました。
- 学校は子ども達の意欲が高まるように工夫していると思いますが、成果が上がっているとは思いません。どうしても一部の騒がしい子どもに注意が向きがちです。そうでない大勢の子どもにも同じように目を向けていただきたいと思います。何度注意されても改善されない子供に対して学校はどのような対応をお考えでしょうか。授業の邪魔をされるのはとても困ります。
- 輪を乱す生徒への指導力をもう少ししっかりしてほしいです。これが原因で授業等の支障がないか非常に心配です。
- 子ども達の表面だけを見て、判断しないでほしいです。高学年になると、自分の見せ方を分かっているので、見えない部分も踏まえて判断してほしいです。
- 少人数の学校というだけでもありがたい上に、先生方もとてもしっかりされた良い方ばかりでいつも嬉しく思っています。
- 1クラスの一つの授業にたくさんの先生がいて、先生によって言うことが違うと子ども達が戸惑います。担任の先生にもう少し委ねてみては、どうでしょうか。1クラスしかなく、目が行き届かず学力が落ちることがないように、お願いしたいです。
- 校門警備を地域・学校・PTAが協力して行っているのはすばらしいと思うのですが、正直、当番をするのは負担です。仕事をなかなか休むことができないのですが、当番のために半日休むために、職場でも心苦しいです。続けてほしいのですが、自分自身は協力できないことも心苦しく、当番のために職場を休むことも心苦しいです。

学力・生徒指導等について憂慮するご意見をいただきました。社会にルールがあり、それを守ることで秩序が生まれ、安心して生活できます。学校も同じです。私たちは子ども達がルールの中で楽しく充実した学校生活を送ることを願っています。しかし一方で、個々の児童の個性を尊重することも大切だと考えています。互いに認め合い、ともに生きる力を育てる教育の実現を目指して、引き続き教師の資質・指導力の向上に努めてまいります。また、保護者との連携を密にしていきたいと考えています。今後ともご理解、ご協力をお願いします。

施設

- 対応が難しいとは思いますが、土足を取りやめていただけたらと思います。
- 授業中など、夏は暑い、冬は寒いと言います。できることなら、教室にエアコンを設置してほしいです。
- 最近いろいろな事件が多いため、児童館を学校内に設置してほしいです。近隣小学校は校内に設置しています。
- 自然と触れ合うことが少ないので、ビオトープなど学年関係なく一緒に作って体験できる場所がほしいです。
- ホワイト（飼育しているインコ）には、友達が必要だと思います。冬は寒く、夏は暑いので、職員室へ入れてはどうでしょうか。

施設の改修については、限られた学校予算の中で対処し、改善していきます。エアコンは、来年度、設置にむけた工事を始めます。

クラス編成

- 低学年 35 人学級は決められているのですが、教室が余っているので学校独自の考えで 30 人以上なら 2 クラスするなどは無理でしょうか。クラス替えのわくわく感など味わってほしいです。やはり現在の 1 年生がこのまま 1 クラスで進級するのは少し困ります。
- もめ事も多く、一クラスの人数も多いので、先生も大変そうなので、早くクラス分けになるように願っています。
- 生徒数が問題だと思う。校区に住んでいる子どもの数が増えるようにしてほしい。小部小の子ども達をこちらに来てもらうのは無理なのではないでしょうか。
- 空き教室が多くて、もったいないなあと思います。小部小はパンパンだと聞くので、桜の宮にきてくれたらいいのになあと思っています。
- 人数が多いからか、授業に集中してない時もあるようで、周りの小学校より授業が遅れているのが気になります。少人数にして学力にもっと力を入れてほしい。
- クラスの人数が多いので、先生の目が届きにくいのではないかと思います。
- 同じ 1 クラスでも生徒数が違えば先生の負担は全然違うと思います。学校の系統的に難しいのかも知れませんが、1 クラスの生徒数が多いところには、もう一人先生を配置していただければ（せめて国語・算数など大事な授業のときだけでも）、担任の先生の負担が減るのではないかと思います。担任の先生に余裕があってこそ、子ども達にも良い授業環境が提供できると思うからです。
- 仕方がないのかもしれませんが、1 クラスというのが、せまい社会で生きているような気がして気になります。
- 1 クラスになるか、2 クラスになるかで担任が決まらないというのは、やめてほしいです。子どもも親も不安になります。何のための転校調査なのでしょう。

教職員の定数は、法律で定められており、学校裁量で教職員を増やすことはできません。スクールサポーターや教育委員会の事業を利用してボランティアを確保し、指導補助を行っています。「人は人によって人になる」という神戸市の教育理念のもと、できる限り人員の配置に努めてまいります。

情報発信

- ミマモルメの警報情報を追加していただけるとありがたいです。（隣の小学校はしているそうです。）
- 学級閉鎖の連絡をその学年に限らず、全学年に知らせてほしいです。

学級閉鎖の連絡は、情報として必要性を感じますので、今後は全学年に知らせるようにいたします。警報については、早く正確な情報を得るために、「ひょうご防災ネット」等をご利用ください。

学校だより
臨時号

桜の宮 No. 2

平成27年3月6日
神戸市立桜の宮小学校
〒651-1143

神戸市北区若葉台 1-3-15
TEL: 078-591-1009

<http://www.kobe-c.ed.jp/skm>

☆ご家庭・お子さんについて

() は昨年度

◎数値評価(4段階評価)

1	子どもは、睡眠不足にならないように、また、登校に支障がないような時間帯で寝起きしている。	3.2(3.2)
2	子どもは、家族や近所の方にも「おはようございます」「ありがとうございます」「すみませんでした」などの基本的なあいさつが進んでできる。	3.1(3.1)
3	子どもは、好き嫌いをせず、朝食・夕食をしっかりと食べている。	3.2(3.2)
4	子どもは、毎日、宿題や家庭学習に、ある一定の時間取り組んでいる。	3.2(3.2)
5	子どもの連絡帳や学校からの手紙、学習ノートなどには目を通すようにしている。	3.3(3.2)
6	子どもの放課後のくらしを把握している。(どこで、だれと、何をしているか)	3.6(3.5)
7	子どもが学習や友達関係で、悩んだり困ったりしたときには、話をしっかりと聞いている。また、必要であればアドバイスするようにしている。	3.4(3.5)
8	子どもと次のようなことを話し合い、正しい使い方を教えたり、家庭での約束を決めたりしている。(例：帰宅時刻・おこづかい・テレビ・ゲーム・携帯電話・メールなど)	3.5(3.5)
9	子どもと楽しく会話している。(学校の話、一緒に見たテレビ番組や近所の話、出かけた先での話など)	3.6(3.5)
10	子どもの言動で問題を感じるときには、きちんとしかったり話し合ったりしている。	3.5(3.6)
11	正しい言葉遣いや時と場に応じた話し方などを教えている。	3.3(3.3)
12	社会のルールやマナーの大切さについて、折に触れて話したり教えたりしている。	3.5(3.5)

◎自由記述

- 年齢が上がるに連れて、子どもの行動を把握するのが難しくなっています。「嘘はつかない。」「困ったときは、いつでも相談に乗る。」ことを大切にしています。
- 習い事に行っている子どもが多く、近くの公園で遊ぶ子が少ないように思います。生きていくうえで人とのかかわりは重要です。できるだけ子ども同士で遊び、それを通してコミュニケーション力を身につけてもらいたいと思っています。
- 毎日の接する時間が少なく、気が付くと注意することが多くなっています。短い時間でもできるだけスキンシップをとるように心がけています。
- 自分も相手も大切に作る表現(アサーション)で、より良い関係を作りたいと思っています。悪いことをしたら、「ごめんなさい。」と言ひ、必ず「いいよ。」と返答し、許すことを教えています。悪いことをしたら、親も謝ります。
- 一緒にいる時間をたくさん過ごすように心がけています。
- 「学校が楽しい。」と言っていて、とてもうれしく思います。毎日成長していく様を感じ、先生方にはとても感謝しています。
- あいさつをきちんとできるように、いつも話をしています。好き嫌いをせずに何でも食べるようになってほしいです。
- 一人っ子でマイペースな部分が多く、社会性・協調性を身につけるのが大変かなと思います。

- 親として、アンケート内容にあることを心掛けていますが、なかなか思うようにいかないことも多々あります。それでも物事の良し悪しは教えていきたいと思っています。
- 大きくなってくると、過保護すぎても、放任すぎてもいけない。そのさじ加減が難しいと思うこの頃です。健康であることと、何か問題が起きた時でも、それを乗り越えていけるようなメンタル面も強い子に育ててほしいです。思いやりの心も育ててほしいです。子どもに望むことは、まだまだありますが、子どもがプレッシャーでつぶれてしまわないよう、これくらいにしておきます。
- 子どもと話をする際、親の実体験を分かりやすく具体的にすると、子どもも興味をもって聞いてくれるし、覚えていてくれることが多いので効果的だと思っています。
- 家族の時間と家族で話すことを大切にしています。
- 気づけば注意するのですが、親の目の届かないところでは、注意できていないので不安に思うところがあります。
- 子どもの躾などは、基本的に家庭で指導するべきと思っています。学校の教育はその助けだと感じています。友達関係についての子どもの考え、学校での出来事、成長とともに変化しつつあります。自分で解決できることは、自分で考えてするようにしています。「人に迷惑をかけない。」「人を傷つけない。」まだまだたくさん言っていますが、学校に行きだして成長してくれたと喜びを感じています。先生方も叱るべきところは、きちんと叱ってくれていますので、感謝しています。
- 子どもが話をしたいとき、どんなことでも聞くように心がけています。
- 子どもの揉め事には入りません。駄目なことは駄目と言いますが、できるだけ見守っていきたいと思っています。
- 相手のことを自分のことに置き換えて考えなさいと日頃から伝えています。「自分が人に言われて嫌な言葉は友達に言わない。使わない。」
- 地元の保育所・幼稚園出身でないので、誰も知り合いがいません。上の子ときは、連絡網がありましたが、今はなくなっています。わからないこと、困ったことを誰にも聞くことができません。子どもの放課後の様子は気になっていますが、子ども自身が話してくれないので、誰にも聞けずわかりません。
- 時間がない時でも、少しの時間であっても、子どもの話に耳を傾けるようにしています。また普段と、変わった様子がないか気を付けています。
- 楽しいようで、嫌がらず、登校していて安心しています。それで十分だと思っています。
- 子どもの興味のあることやものを知って、共通の話題で楽しめるようにしています。
- 「自立」をテーマに育てていますが、手を出してしまうことが多いです。「家が一番、安心できる。」と言ってくれているので、よい環境はつくりけていると思います。学校へも楽しく行ってくれています。事件・事故以外の心配事はありません。ありがとうございます。
- 子ども達は学校の先生や保護者を含め、大人に対して敬意を持っていないと思います。だから、学校でも学校の外でも大人の言うことを聞きません。その行動が学校生活の環境を悪くしたり、事故につながることもあります。学校と家庭は子ども達のために協力し合うことが不可欠だと思います。
- 子育てに教科書はありません。核家族がほとんどの中、皆、手探りで子育てしている状況だと思います。我が家のルールはよそとは違います。だから、どこまで他人の子を叱ってよいものか困惑することもあります。仕事をされている方が増えている中、放課後の子どもの行動を把握している方は、いかほどかだと思います。コンビニでの買い食い、食べながら歩いている姿を見かけます。その後ゴミはどこへ行くのでしょうか。

- 一日のうち、いいことを一つ話してもらおうようにしています。そして、喜びや悩みがあったときは、愛情をもって話を聞き、安心させてあげます。相手を思いやることなど大切なことを話し合っ身につけてほしいです。
- 目上の人に対する言葉遣い、接し方などを教えていますが、なかなかとっさにはできないというのが実情です。早寝・早起きを心掛けて、睡眠不足にならないようにしたいと思っています。
- 子どもが大きくなるにつれ、ゲームやインターネットなど今の時代とうまく付き合うのが難しいと感じます。厳しすぎず、甘すぎず、悩みます。